



Design your own road

WHILLの月刊誌

# WHILL MAGAZINE

2017  
JAN.  
1



WHILL株式会社

〒230-0045 横浜市鶴見区末広町1-1-40 横浜市産学共同研究センター実験棟F区画

電話: 045-633-1471 FAX: 045-633-1472 メール: info@whill.jp

WHILL



## お客さまインタビュー

AKIRA TAKAHASHI

VOLUME. 14

高橋輝さん

# WHILLがあれば 雪道だって愛犬と 散歩ができます。

自動車事故により、頸椎損傷(C4不全)、両足切断となった高橋様。

驚異的な回復をされ、現在は職場復帰して  
通勤でWHILLを利用されています。

一年半前にWHILLを自動車保険の保険金にて購入されました。  
現在では手動車椅子とWHILLを併用して生活されています。

雪道での走行は路面凍結によるスリップ、積雪でのスタックなどの危険を伴う場合があります。WHILLの4輪駆動は全ての雪道での走行を保証するものではありません。特に積雪、路面凍結、斜面(登り、下り、片流れ)、段差、降雪時などでのご利用はおやめください。



### なぜWHILLを選んだのか

自動車事故により、頸損(C4不全)、両足の膝から下を切断することになりました。入院中に、母がテレビでWHILLの特集を見てWHILLを知り、そのあとインターネットで調べました。機能・デザインがよく、一目惚れでした。他の電動車椅子も見ていきましたが、圧倒的にデザインが気に入りました。購入を検討してから実際に納品までおよそ1年程度。手動車椅子と併用しながら、現在はとても気に入って使用しています。

### WHILLの気に入っているところ

四駆なので、普段入っていけないところに入つていけることです。週末はよく両親のいる那須にくるのですが、今日のような積雪状況でも、問題なく走ることができます。(※個人の感想です)また、手動車椅子と違って手があきますので、愛犬と一緒に散歩することもできます。平日はよく都内を走りますが、坂の多い近所もWHILLであれば何なく走れるのが嬉しいですね。



### WHILLが来て変わったこと

行動範囲が圧倒的に広くなりました。動くのが少し億劫で部屋に引きこもりがちでしたが、WHILLがあれば何処へでもいけるので、外に出たくなります。事故前には那須平成の森でフィールドツアーのボランティアガイドをやっていたのですが、今度はWHILLに乗りながら、このガイドツアーも再開したいですね。バリアフリー整備がされたところはもちろんですが、そうではない山道でもWHILLであればツアーのお客さんと一緒に入つていけると思うので、ガイドの内容も復習して、早くまたチャレンジしたいなと思います。



**WHILLの中の人**

車では解決できないことも  
WHILLなら解決できると  
信じています。

佐藤圭悟(さとうけいご)



大学では工学部機械系で半導体の研究をし、大学院を経てトヨタ自動車に就職しました。トヨタでは、エンジニアとして入社し、プリウスの燃費改善に関わる開発をしていました。

トヨタに勤務している時、同期と立ち上げた勉強会で、当時東京モーターショーに出演したWHILL創業メンバー杉江の話を聞く機会があり、その2年後にはWHILLの同じく創業メンバー内藤にインタビューする機会がありました。その時、ちょうどこれからWHILL製品を量産することで、人手が足りないから手伝って欲しいと頼まれ、週末だけ手伝うようになりました。話を詳しく聞いていくと、人手が足りない部分は量産以外にもたくさんあって、特に共同研究や共同開発、社外のサプライヤとコンタクトする窓口がなく、エンジニアリングが理解できつつ柔軟に対応する人にも来て欲しいとのことでした。自分が求められていると思い、トヨタを辞めWHILLに転職をする決断をしました。

「移動」は追求していくたいキーワードの一つです。昔、私の祖父が腰を悪くして、だんだん移動が大変になり、元気がなくなつて行きました。そんな祖父がある時、もう一度伊勢神宮に参拝したいと言つたので、車を借りて、祖父と家族みんなで伊勢まで向かいました。道中は何も問題ないのですが、困難は伊勢神宮の駐車場に着いた後でした。

数百メートルなら祖父も杖をついて歩くことができますが、神宮内は随分と歩かなくてはならず、車いすを借りました。石畳や砂利道続きで車いすは安定しないし、段差だらけだし、人も多く、車いすを押している方も正直楽ではない。祖父もきっと他にも伊勢神宮内で行きたいところもあったと思うんですが、何も言わなくなってしまいました。

その時思った事が、自動車は完成されたとしても素晴らしい乗り物ではあるが、自動車にできることは駐車場から駐車場への移動だけで、本当の目的地までの課題解決ではないと。この最後の目的地までの部分を“ラスト1マイル”と呼ぶのですが、そこにはまだサービスが提供できていないんです。でも、WHILLならこのラスト1マイルを埋められるかもしれない。そう思ったのも入社の動機として大きいです。

実際のところ、共同研究に関する仕事だけではなく、他にも量産に向けた調達や品質保証の仕事をしています。モーター、バッテリー、コントローラーなどを担当しています。これらの調達元はほぼ海外で日本人の考える品質や商習慣は通じない中で日々想像を超えることが起きますし、WHILLのようなまだ小さな企業の調達は非常に難しいところがあります。ただ製造業の基本を踏襲しながらも、ベンチャー企業らしい独自の手法を創り出していくことに日々喜びを感じています。

## NEWS

WHILL Model Mが  
CES 2017  
Innovation Awards  
を受賞しました



2017年1月4日(米国ネバダ州)-米国ラスベガスにて現地時間1月5日(木)-8日(日)に開催される家電・モバイル・テクノロジー業界の展示会「CES 2017」が各分野において特に注目すべき製品を表彰する「CES 2017 Innovation Awards」にて、「WHILL Model M」が「Accessible Tech」部門で選出されました。

\*『WHILL Model M』は医療機器として米国で販売するために必要な認可をFDA(Food and Drug Administration・米国食品医薬品局)より2016年2月に取得し、本年度より本格的に販売を開始します。